

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010101

事業名		環境基本計画推進事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課	
根拠法令		苫小牧市環境基本条例				
令和2年度決算額		333	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	333	千円			
事業費（総計）		3,859	千円			
決算額		333	千円			
人件費		3,526	千円			
事業の目的		苫小牧市環境基本条例に基づく「環境基本計画」を推進するため、市民、事業者、民間団体の三者で構成する「環境基本計画推進会議」を設置し、市民の意識啓発を図ります。				
事業の内容		<p>1 環境基本計画推進会議を年3回開催し、計画の推進に関する事業の企画と実施、取組項目の進捗状況の点検を行いました。</p> <p>2 環境保全に対する市民への意識啓発として、4事業を実施しました。</p>				
SDGs17の目標						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		環境基本計画推進会議実施事業	回	4	5	5
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				多くの市民参加が得られ、環境保全に対する意識の醸成が図られていることから、「4」としました。
効率性		●				事業費の大半は人件費であり、必要最低限の経費で各種事業を展開しているため、「4」としました。
公平性			●			事業によっては先着順としたが、様々な媒体により市民周知を図ったことから、「3」としました。
将来性		●				本事業については、今後も環境保全に対する意識醸成を図るために必要であることから、「4」としました。
総合評価		A		項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できており、事業の見直しは不要であるが、マンネリ化を防ぐために、事業の内容及び実施時期等について、都度検討を加えます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010102

事業名		大気汚染常時監視測定機器整備事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課		
根拠法令		大気汚染防止法					
令和2年度決算額	11,418	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金	10,854	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	564	千円				
事業費（総計）	12,828	千円		総合評価	A		
決算額	11,418	千円					
人件費	1,410	千円					
事業の目的	市民の健康を保護し生活環境を保全するため、大気汚染常時監視測定局の老朽化した自動測定機の更新を行い、市内大気環境の把握及び市民への情報提供に努めます。						
事業の内容	1 令和2年度は老朽化した糸井局の一酸化炭素測定装置、勇払局のオゾン測定装置及び窒素酸化物測定装置の更新を行いました。 2 市役所局及び勇払局の記録計をデジタル記録計に更新し、常時監視の効率化を図りました。			<p>オゾン測定装置</p> <p>一酸化炭素測定装置</p> <p>デジタル記録計</p> <p>窒素酸化物測定装置</p>			
SDGs17の目標							
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
	大気汚染常時監視実施率		%	99	99	97	
	大気環境基準達成率		%	91	91	91	
項目評価	高 → 低			評価の理由			
	4	3	2	1			
有効性	●				更新対象機器は設置後15～22年経過し、修理部品の供給も終了している状態でしたが、今後も安定した常時監視を行うために機器整備は必須の事業であるため、「4」としました。		
効率性	●				デジタル記録計の導入により、消耗品のランニングコストが抑えられるほか、機器更新時のコストダウンも図られたため、「4」としました。		
公平性	●				計6地点の測定局により、市内全域の大気汚染状況を把握することから、「4」としました。		
将来性	●				大気汚染防止法の政令市である本市は、大気汚染状況の監視及び緊急時の周知等について義務付けられており、今後も継続して監視するための整備を行う必要があることから、「4」としました。		
総合評価	A			市民の健康を保護し生活環境を保全するため、大気汚染常時監視測定機器の整備は継続的に必要な事業であります。今後も、大気汚染常時監視機器以外の各種環境測定機器についても整備を行い、市民の生活環境の保全に努めます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010103

事業名		住宅用新・省エネルギーシステム補助事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課					
根拠法令		苫小牧市環境基本条例								
令和2年度決算額		7,000	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 将来性 効率性 </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 公平性 総合評価 </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>						
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	7,000	千円							
事業費（総計）		9,116	千円							
決算額		7,000	千円							
人件費		2,116	千円							
事業の目的		地球温暖化防止に向けた環境負荷の少ないまちづくりに寄与することを目的とし、住宅用省エネルギーシステムを設置する市民に対し、補助金を交付することにより、対象システムの普及促進を図ります。								
事業の内容		<p>1 補助対象システム及び補助内容 補助事業要綱に定める要件（設備要件、対象者など）により、対象システムの購入設置に要する費用の1/10（千円未満の端数切捨て）を助成。機種ごとに補助上限額あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電システム 新築・既存 上限120,000円 ○CO2冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート） 新築：上限40,000円、既存：上限45,000円 ○潜熱回収型ガス給湯暖房機（エコジョーズ） 新築：上限30,000円、既存：上限35,000円 ○潜熱回収型石油給湯暖房機（エコフィール） 新築：上限20,000円、既存：上限25,000円 ○ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS） 新築・既存 上限20,000円 下限10,000円 ○定置用リチウムイオン蓄電池 新築・既存 上限120,000円 ○ガスエンジンコージェネレーション（コレモ） 新築・既存 上限50,000円 ○ピークルーツーホーム（V2H） 新築・既存 上限50,000円 <p>2 令和2年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電システム 新築：13件 既存：1件 ○エコキュート 新築：10件 既存：27件 ○エコジョーズ 新築：19件 既存：24件 ○エコフィール 新築：2件 既存：62件 ○HEMS 新築：5件 既存：2件 ○定置用リチウムイオン蓄電池 新築：6件 既存：2件 ○ガスエンジンコージェネレーション（コレモ） 新築：2件 既存：0件 ○ピークルーツーホーム（V2H） 新築：0件 既存：0件 <p style="text-align: right;">合計175件</p>								
SDGs17の目標										
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		補助金交付件数			件	175	159	361		
項目評価		高 → 低		評価の理由						
		4	3	2	1					
有効性		●				地球温暖化対策の推進につなげるため、補助金制度の対象システムを追加したことから、「4」としました。				
効率性		●				補助金の申込が年度末までに予算額に達し、市内の温室効果ガス削減に寄与できたことから、「4」としました。				
公平性			●			補助金交付は先着順ですが、様々な媒体により市民周知を図ったことから、「3」としました。				
将来性		●				カーボンニュートラルの取組の一つであり、地球温暖化対策として継続して実施していく必要があることから、「4」としました。				
総合評価		A			項目評価のとおりおおむね目的に合った事業を展開できています。今後は、新たに国の2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市民ニーズに合う新たな補助メニューの検討を加えたいと考えています。					
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010104

事業名		環境保全啓発事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課	
根拠法令		苫小牧市環境基本条例				
令和2年度決算額		800	千円	項目評価		総合評価 B
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	800	千円			
事業費（総計）		1,505	千円			
決算額		800	千円			
人件費		705	千円			
事業の目的		市民や事業者に対し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心・理解を深め、行動してもらうための様々な啓発活動を民間事業者の発想を活かして効率的かつ効果的に行うことを目的とします。				
事業の内容		<p>1 Instagram運用 主に若年層をターゲットに、週2回、環境に関する投稿を行い、啓発につなげました。</p> <p>2 エコドライブコンテスト 車載器とスマートフォンアプリを使い、マイカーでエコドライブに取り組み、評価点上位3チームを表彰しました。（3人1組で募集）</p> <p>3 省エネコンテスト 個人のエコな取組をSNSに投稿し「いいね！」数や、自宅の電気使用量の削減量を競い、成績上位者を表彰しました。</p> <p>4 エコライフ啓発事業 エコに関するショートムービーを21本制作し、Instagramにて投稿し啓発につなげました。</p>				
SDGs17の目標						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		Instagramフォロワー数	人	886	-	-
		エコドライブコンテスト参加者数	人	72	-	-
		省エネコンテスト参加者数	人	25	-	-
		エコライフ啓発事業（動画再生回数）	回	2,096	-	-
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性			●			SNSを活用したことで、従来の環境啓発事業と比較し、若年層への啓発が強化されていることから、「3」としました。
効率性				●		民間委託とすることで業務の負担軽減が図られているものの、受託者との連絡・調整に時間を要するなど、迅速なサービス提供に向け改善の余地があることから、「2」としました。
公平性				●		情報発信においてはSNSをはじめとするインターネット上での取組を主とし、若～中年層への啓発は強化された一方、普段からインターネットに触れない方への啓発にはつながらなかったことから、「2」としました。
将来性		●				国の2050年カーボンニュートラルの実現に向け、SNS等を活用した若～中年層への啓発の必要性が増していることから、「4」としました。
総合評価		B		項目評価のとおりおおむね目的に合った事業を展開できていますが、新規事業のため運営体制や実施形態に改善の余地があり、令和2年度の反省を踏まえ市民サービスの向上に努めていきたいと考えています。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号 04010201

事業名		アライグマ捕獲事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令		特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律							
令和2年度決算額		6,554	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 20px;">項目評価</div> <div style="margin-left: 20px;">総合評価</div> </div>		B			
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	6,554	千円						
事業費（総計）		7,006	千円						
決算額		6,554	千円						
人件費		452	千円						
事業の目的		特定外来生物であるアライグマを駆除することで、良好な自然環境の保全と在来生物の生態系や生息環境を維持するとともに、家庭菜園や農産物の被害を低減します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> 捕獲地点、捕獲計画の作成 前年までの事業で蓄積したデータを参考に、小川の周辺など捕獲効率の高い地点や農地・市街地等に侵入してくる経路等にワナの設置地点を選定し、順次ワナの位置を変更していく捕獲スケジュールを作成しました。 ワナの設置、点検、捕獲 計画に従いワナを設置し、毎日巡回点検や餌の補充などを行い、アライグマ・アメリカミンクがかかっていたら捕獲、他の動物がかかっていたら放獣しました。また、同一地点では2週間程度で捕獲率が落ちるため、新たな地点にワナを移し、捕獲を行いました。 捕獲日誌、事業報告書の作成 期間中、毎日のワナ設置地点や基数、捕獲されたアライグマの個別データ等を記録し、事業終了時には報告書が作成されています。このデータは、累積されて翌年度以降の事業計画立案の資料として活用しています。 							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		捕獲頭数		頭	151	135	107		
		ワナかけ延べ日数		わな日	5,736	4,853	4,879		
		参考：本事業以外の捕獲頭数（ワナ貸出）		頭	160	92	73		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性		●			本事業を継続的に行うことにより、アライグマの生息域の山林内で一定数のアライグマの捕獲を行うことができていることから、「3」としました。		
		効率性			●		ワナかけ日数と捕獲頭数を比較し、少ない費用での効果が得られているとはいえないことから、「2」としました。		
		公平性		●			良好な自然環境の保全や生態系の維持に資することから、「3」としました。		
将来性	●				良好な自然環境の保全や生態系を維持するため、今後も継続して行っていく必要があることから、「4」としました。				
総合評価		B			本事業によりアライグマを一定数捕獲できていることから、今後も自然環境の保全や生態系を維持し、アライグマによる被害を低減するため、事業の継続が必要です。今後は効率性を高めるための見直しを検討します。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号 04010202

事業名		拓勇樹林地区自然環境調査事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課					
根拠法令		苫小牧市自然環境保全条例								
令和2年度決算額	6,112	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	6,112	千円							
事業費（総計）	6,817	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A	
総合評価										
A										
決算額	6,112	千円								
人件費	705	千円								
事業の目的	平成7年に自然環境保全地区に指定した「拓勇樹林」は、周辺環境が区画整理事業後に住宅地へと大きく変化し、ごみの不法投棄や落葉等の問題があるため、拓勇樹林の自然環境の変化を指定当時と比較調査し、今後の「拓勇樹林」のあり方を検討します。									
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 拓勇樹林地区自然環境調査について 業務委託により、令和2年4月から令和3年3月を調査期間として、植物調査、鳥類調査、昆虫類調査を実施したほか、有識者ヒアリングを実施しました。また、拓勇樹林地区の環境整備をした場合の課題整理を行いました。</p> <p>2 拓勇樹林地区市民アンケートについて 拓勇樹林のあり方を検討していくにあたり、市民のご意見を参考とするため、令和3年1月に市民アンケートを実施しました。</p> <p style="text-align: center;">【拓勇樹林の代表的群落】</p> <p>3 拓勇樹林の観察会について 拓勇樹林に対する理解を深めるため、自然観察会を実施し、24名の参加をいただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ミズナラ群落(砂堆列上のやや乾いた森林)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ハンノキ群落(後背低地の湿性林)</p> </div> </div>									
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度				
	植物調査の確認種数		種	264	-	-				
	鳥類調査の確認種数		種	39	-	-				
	昆虫類調査の確認種数		種	521	-	-				
項目評価	高 → 低				評価の理由					
	4	3	2	1						
	有効性	●						環境調査により、現状の拓勇樹林の自然環境を把握することができ、今後の検討資料とする目的を達成したため、「4」としました。		
	効率性	●						本事業については、自然環境の把握以外に、環境整備の課題整理や市民アンケート調査も行うなど費用に見合った効果を得られたことから、「4」としました。		
	公平性		●					拓勇樹林は自然環境保全地区であり、市民の貴重な財産であるため、「3」としました。		
将来性	●				環境調査や市民アンケートの結果は、将来、自然との共生のまちづくりに生かすことができることから、「4」としました。					
総合評価	A		本事業により、拓勇樹林のあり方を検討するための資料を得ることができ、事業の目的を達成することができました。次年度はこれらの資料を基に拓勇樹林のあり方の方向性を決定していきたいと考えています。							
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020101

事業名		特定不妊・不育症治療費助成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課																																			
根拠法令																																								
令和2年度決算額		6,945	千円	項目評価		総合評価 A																																		
財源内訳	国道支出金		千円																																					
	地方債		千円																																					
	その他	6,945	千円																																					
	一般財源		千円																																					
事業費（総計）		8,355	千円																																					
決算額		6,945	千円																																					
人件費		1,410	千円																																					
事業の目的		不妊治療及び不育症に係る検査・治療に対し助成することで、子どもを望む夫婦の経済的負担軽減を図ります。																																						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 特定不妊治療及び男性不妊治療費助成 特定不妊治療及び男性不妊治療に係る治療費の一部を助成します。不妊治療でかかった費用から、北海道が実施している特定不妊治療費助成の額を引いた額に対し、5万円を上限として費用の助成をします。</p> <p>2 不育症検査・治療費助成 不育症の因子を特定するための検査や検査結果に基づく検査・治療費の一部を助成します。不育症の検査・治療にかかった費用から、北海道が実施している不育症治療費助成の額を引いた額に対し、5万円を上限として費用の助成をします。</p>																																						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																																		
		特定不妊治療費助成件数	件	140	160	132																																		
		不育症治療費助成件数	件	0	1	1																																		
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>特定不妊治療等を受けている夫婦の経済的負担が軽減されているため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>北海道が実施している特定不妊治療費助成を受けられる方を対象にすることで、効率的に申請を受け付けられるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>対象者全員が申請を行うことで補助金の交付が受けられるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>国において不妊治療に係る公的医療保険の適用が検討されているため、今後の国の動向にあわせて事業内容の見直しを行う必要があります。</td> </tr> </tbody> </table>						高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				特定不妊治療等を受けている夫婦の経済的負担が軽減されているため、「4」としました。	効率性	●				北海道が実施している特定不妊治療費助成を受けられる方を対象にすることで、効率的に申請を受け付けられるため、「4」としました。	公平性	●				対象者全員が申請を行うことで補助金の交付が受けられるため、「4」としました。	将来性		●			国において不妊治療に係る公的医療保険の適用が検討されているため、今後の国の動向にあわせて事業内容の見直しを行う必要があります。
	高 → 低				評価の理由																																			
	4	3	2	1																																				
有効性	●				特定不妊治療等を受けている夫婦の経済的負担が軽減されているため、「4」としました。																																			
効率性	●				北海道が実施している特定不妊治療費助成を受けられる方を対象にすることで、効率的に申請を受け付けられるため、「4」としました。																																			
公平性	●				対象者全員が申請を行うことで補助金の交付が受けられるため、「4」としました。																																			
将来性		●			国において不妊治療に係る公的医療保険の適用が検討されているため、今後の国の動向にあわせて事業内容の見直しを行う必要があります。																																			
総合評価		<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> <td>特定不妊治療、男性不妊治療及び不育症の検査・治療については、治療費等が高額で経済的負担が大きいことから、今後も検査・治療を必要とする方の経済的負担の軽減を図ります。</td> </tr> </table>					A	特定不妊治療、男性不妊治療及び不育症の検査・治療については、治療費等が高額で経済的負担が大きいことから、今後も検査・治療を必要とする方の経済的負担の軽減を図ります。																																
A	特定不妊治療、男性不妊治療及び不育症の検査・治療については、治療費等が高額で経済的負担が大きいことから、今後も検査・治療を必要とする方の経済的負担の軽減を図ります。																																							
特記事項																																								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020102

事業名		子育て世代包括支援センター事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令		母子保健法				
令和2年度決算額		6,901	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	4,042	千円			
	地方債		千円			
	その他	2,859	千円			
	一般財源		千円			
事業費（総計）		27,489	千円			
決算額		6,901	千円			
人件費		20,588	千円			
事業の目的		妊産婦とその子を対象として、妊娠・出産・子育てにおいて切れ目のない支援体制を構築し、母子保健や育児に関する様々な悩みに対応することを目的としています。				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> 利用者支援事業（母子保健型） <ol style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期にわたる母子保健、育児に関する相談 「とまっこファイル」を活用した子育てに関する情報提供 子育て支援メール「とまっこメール」を配信し、相談窓口の周知や子育てに関するサービスの情報提供 産前・産後サポート事業 <ol style="list-style-type: none"> アドバイザーによる「プレママ・ママの安心訪問事業」（妊娠、産後1年未満の産婦） 研修を受けたアドバイザーが妊産婦の相談に応じました。 「Mom'sサロン」（産後2か月から産後4か月頃の産婦と乳児） 参加者同士の交流会や妊産婦からの相談に応じました。 産後ケア事業 （対象：産後4か月未満の産婦と生後4か月未満の乳児） 産後の体調の変化や授乳・育児等の不安により、支援が必要となる母子に対して、助産師が訪問し、心身のケアや育児支援を行いました。 				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		相談件数（妊娠・出産・子育て）	件	804	643	561
		ケアプラン作成数	件	373	394	344
		とまっこメール配信数	回	568	350	388
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				妊娠期・子育て期における様々な相談が寄せられており、切れ目のない支援に寄与しているため、「4」としました。
効率性			●			コロナ禍において、各教室・相談事業ともに時間短縮や人数制限をしながら、感染対策に十分配慮し実施しました。
公平性		●				母子健康手帳交付時には必ず面談し、丁寧に聞き取りを行い、必要な者に対しては継続的な支援につなげることができたため、「4」としました。今後も乳幼児健診や各教室等の様々な場面で当センターを周知していきます。
将来性		●				年々、相談件数が増えており、当センターの認知度も浸透されつつあるため、「4」としました。
総合評価		A		妊娠・出産・子育てに関する相談窓口の周知を図り、利用者増につながりました。今後も安心して子育てができるよう、今後も適時、相談に応じ支援していきます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020103

事業名		父子健康手帳交付事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令								
令和2年度決算額		183	千円	項目評価		総合評価 A		
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	183	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		1,014	千円					
決算額		183	千円					
人件費		831	千円					
事業の目的		父子健康手帳の交付、父親への子育て講座を実施し、父親が育児に関心を持ち、積極的に子育てに関わることで、母親の子育ての孤立化を防ぐことを目的とします。						
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 父子健康手帳の交付 妊娠や育児に関わる内容が記載された父子健康手帳を活用することにより、妻の妊娠時に父親になる意識を持ってもらえる効果を期待しています。 子育て応援教室「おとうさんといっしょ！！」 4か月～1歳6か月児とその父親を対象に実施（令和2年度は新型コロナ感染拡大防止のため、母親の同席を不可としました。） <ol style="list-style-type: none"> 保育士による親子遊びの紹介 保健師の講話 手形アート作り 						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		父子健康手帳の交付		件	1,187	1,181	1,226	
		おとうさんといっしょ開催数		回	2	2	3	
		おとうさんといっしょ参加組数		組	41	45	24	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				参加者アンケートからも、満足度が高く、育児への関心や接し方の自信も参加前後でプラスに変化していたことから、「4」と評価しました。		
効率性			●			新型コロナ感染大防止対策として時間短縮・人数制限をしながら、感染対策に十分配慮し実施しました。		
公平性				●		新型コロナ感染大防止対策として人数制限をしたため、キャンセル待ちや参加できなかった方がいました。人数制限については、事前に十分に周知しており、市民理解が得られていることから、「3」としました。		
将来性		●				今後も父親の育児参加を進めていくことが重要であるため、「4」としました。		
総合評価		A		父子健康手帳の交付や父親へ子どもとの遊び方や接し方を伝えることにより、子どもの成長の見通しを立てられたり、具体的な関わり合いを意識したきっかけづくりとすることができました。今後も夫婦で子育てが積極的に行われるよう父親が育児に関心を持つ機会やきっかけづくりを図っていきます。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020104

事業名		こんにちは赤ちゃん事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令		母子保健法					
令和2年度決算額		1,079	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	757	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	322	千円				
事業費（総計）		37,021	千円	総合評価	A		
決算額		1,079	千円				
人件費		35,942	千円				
事業の目的		生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供、及び不安や悩みを聞くとともに、母子の心身状況や養育環境等を把握することにより、支援が必要な家庭への適切なサービス提供につなげます。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 家庭訪問により次の内容を実施 <ol style="list-style-type: none"> 母親の妊娠・出産経過を確認し、産後の母体について必要な助言、指導を行います。 EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）を用い、母親の精神面の状況把握と支援を行います。 新生児・乳児の発育や発達を観察し、必要な助言・指導を行います。 生活面や育児面の状況把握、育児不安に対する支援を行います。 活用できる社会資源情報や子育て支援情報のリーフレットを提供します。 健診、予防接種、電話相談等について説明します。 継続支援ケースの早期発見と支援 訪問者の研修 赤ちゃん訪問報告学習会とケース対応会議を定期的に行い、専門的な知識・技術の向上を目指します。 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		訪問実施数		件	1,113	1,086	1,186
		訪問実施率		%	98	97	97
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				養育環境等の把握により、支援が必要な家庭に保健師によるサポートを行うことができたため、「4」としました。	
効率性			●			事業費の大半は人件費であり、必要最低限の経費で事業を展開しているため、「3」としました。	
公平性		●				生後4か月までの乳児のいるすべての家庭が対象であるため、「4」としました。都合により訪問できなかった家庭については、関係機関と連携し家庭の状況把握に努めています。	
将来性		●				核家族化などの社会背景の中で、家庭訪問により、保健師が子育て支援に関する情報提供やサポートを行うことで、その後の子育て支援に繋がっていくため、「4」としました。	
総合評価		A		子育て世代包括支援センター事業と併せて、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援していきます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020105

事業名		新生児聴覚検査助成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令		母子保健法					
令和2年度決算額		2,993	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	2,993	千円				
事業費（総計）		5,161	千円	総合評価	A		
決算額		2,993	千円				
人件費		2,168	千円				
事業の目的		聴覚障害の早期発見・早期療育が図られるよう、新生児聴覚検査に係る費用について一部公費負担を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。					
事業の内容		SDGs17の目標 新生児聴覚検査に係る初回検査の費用を一部公費負担（上限3,000円）します。					
SDGs17の目標							
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		新生児聴覚検査費用助成人数	人	918	997	1,042	
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				新生児期に検査を受診することで、早期発見・早期療育・早期支援につながることから、「4」としました。	
効率性		●				令和2年度は、再検査20名のうち、2名が経過観察となり、早期発見・支援につなげることができたため、「4」としました。	
公平性		●				全ての新生児が対象であるため、「4」としました。なお、聴覚検査受診票の交付時に、検査の必要性を周知しています。	
将来性		●				聴覚障害は、早期に適切な支援を実施することで、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられるため、「4」としました。	
総合評価		A		今後も新生児聴覚検査の必要性を保護者へ伝え、検査の受診勧奨に努めていきます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020106

事業名		苦小牧看護専門学校建設費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課					
根拠法令										
令和2年度決算額		11,241	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	11,241	千円							
事業費（総計）		11,382	千円		<table border="1"> <tr> <td>総合評価</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>			総合評価	A	
総合評価	A									
決算額		11,241	千円							
人件費		141	千円							
事業の目的		平成17年に校舎を建て替えた苦小牧看護専門学校の建設費を補助することで、より専門的かつ高度な教育環境を整備し、地域で看護の専門職の育成を図ります。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>苦小牧看護専門学校の建設費を補助します。</p> <p>※建設費補助総額 平成18年度～令和7年度（20年間） 242,597千円</p>								
実施結果（活動指標）										
		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		苦小牧看護専門学校建設費補助金	千円	11,241	11,442	11,635				
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
有効性		●						充実した施設での看護職員養成の場を確保できているため、「4」としました。		
効率性		●						高度な教育環境にて、地域で看護の専門職の育成が図れるため、「4」としました。		
公平性		●						看護職員養成の場として広く利用されるため、「4」としました。		
将来性		●				東胆振圏域の看護師の養成と圏域の人材確保に寄与するため、「4」としました。				
総合評価		A				東胆振圏域の看護師の養成を図り圏域の人材確保につながっています。引き続き、令和3年度から令和7年度まで総額53,250千円を支出します。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020107

事業名		産婦健康診査事業		担当部署	健康こども部 健康支援課						
根拠法令		母子保健法									
令和2年度決算額		5,248	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	2,624	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	2,624	千円								
事業費（総計）		8,574	千円	<table border="1"> <tr> <td>総合評価</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>			総合評価	A			
総合評価	A										
決算額		5,248	千円								
人件費		3,326	千円								
事業の目的		産後間もない時期に産婦の体調や育児不安等を把握することを目的に産婦健康診査を行います。さらに支援が必要な産婦を産後ケア事業へ結びつけ、切れ目ない支援を行うことにより、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図ります。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象 全産婦 健診内容 (1) 問診 (2) 診察 (3) 体重・血圧測定 (4) 尿検査 (5) エジンバラ産後うつ病質問票 健診委託料 一人1回のみ 5,000円（上限） 健診方法 産婦健康診査受診票を1枚交付、産後2週間前後または産後1か月の健診の受診時に使用 その他 受診結果、ハイリスクと判断された場合、委託医療機関から連絡票を受取り、保健師による切れ目ない支援へつなげていきます。 									
実施結果（活動指標）				単位	R2年度	R1年度	H30年度				
				人	1,026	973	-				
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							産婦健康診査事業を実施することで、医療機関との連携をスムーズに図ることができました。また、精神面で不安定な産婦に早期に介入でき、支援につなげることができました。		
効率性		●							健診結果を基に、訪問や電話相談等で支援を行い、精神面の変化を観察しながら、必要に応じた支援を実施しました。		
公平性		●							母子健康手帳交付時に必ず産婦健康診査について丁寧に説明を行っています。		
将来性		●				医療機関と産前・産後ネットワーク会議の中で連携しながら、円滑な支援につなげていきます。					
総合評価		A				医療機関での支援状況を把握することにより、産後のメンタルフォローをより丁寧にできるようになりました。今後も、必要な者に対して早期に保健師支援へつなげていきます。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020108

事業名		コウノトリ検査事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令							
令和2年度決算額		1,179	千円	項目評価		総合評価 A	
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	1,179	千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）		2,589	千円				
決算額		1,179	千円				
人件費		1,410	千円				
事業の目的		子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な不妊治療を開始できるよう不妊検査に係る費用に対し助成することで、不妊原因の早期発見につなげます。					
事業の内容 SDGs17の目標 		保険医療機関にて行った不妊検査に要した費用について、夫婦1組につき2万円を上限に助成します。					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		不妊検査費助成件数		件	59	-	-
項目評価		高 → 低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				早期の不妊原因の発見と治療開始は重要であり、不妊検査費用を助成することで、不妊原因の早期発見につなげることができるため、「4」としました。	
効率性		●				手続きに時間を要することもなく、より少ない人工で効果が得られているため、「4」としました。	
公平性		●				対象者全員が申請を行うことで補助金の交付が受けられるため、「4」としました。	
将来性			●			国において不妊治療に係る公的医療保険の適用が検討されているため、今後の国の動向にあわせて事業内容の見直しを行う必要があります。	
総合評価		A				子どもを望む夫婦が早期に検査を受けるきっかけづくりとすることができました。	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020109

事業名		看護学校遠隔授業環境整備事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和2年度決算額		8,996	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	8,500	千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	496	千円			
事業費（総計）		10,406	千円			
決算額		8,996	千円			
人件費		1,410	千円			
事業の目的		苫小牧市内の看護学校の遠隔授業の実施に必要な経費を補助することで、看護学生が自宅等において支障なく授業を受講できる環境を構築し、看護学生の学習機会を確保します。				
事業の内容		SDGs17の目標 苫小牧市内の看護学校の遠隔授業の実施に必要な経費を補助します。 1 対象とする学校 (1) 苫小牧看護専門学校 (2) 王子総合病院附属看護専門学校 2 補助対象経費 (1) 遠隔授業を実施するために必要な設備整備費 (2) インターネット回線への接続機能を有する可搬型通信機器費用 3 基準額 1学校当たり4,500千円 4 補助率 10/10以内				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●	看護学校の遠隔授業の実施に必要な設備を整備したことで、コロナ禍において臨時休校を余儀なくされた場合にも看護学生の学習機会を確保できるため、「4」としました。			
効率性		●	時間を要することなく、迅速に環境を整備することができたため、「4」としました。			
公平性		●	苫小牧市内にある全ての看護学校を対象としているため、「4」としました。			
将来性		●	看護学校の遠隔授業の実施に必要な設備を整備したことで、コロナ禍において臨時休校を余儀なくされた場合にも看護学生の学習機会を確保できるため、「4」としました。			
総合評価		A		項目評価のとおり目的に合った事業を展開することができました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020110

事業名		子育て応援商品券給付事業		担当部署	健康こども部 健康支援課						
根拠法令											
令和2年度決算額		87,303	千円	項目評価		総合評価 A					
財源内訳	国道支出金	82,900	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	4,403	千円								
事業費（総計）		88,713	千円								
決算額		87,303	千円								
人件費		1,410	千円								
事業の目的		<p>コロナ禍で衛生用品等にかかる出費や休校等で子どもにかかる出費も各家庭で増えているなか、18歳未満の子どもに対し、市内限定で使用できる商品券を給付することにより、子育てにおける家計を支援します。</p>									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>基準日（令和2年8月1日）に苫小牧市の住民基本台帳に登録されている満18歳未満（令和2年度内18歳到達者を含む）の子どもに3,000円分の商品券を給付しました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		給付件数			件	25,837	-	-			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							商品券の給付により、子育て世帯における経済的な負担を減らすことができたため、「4」としました。		
効率性		●							子育て世帯における経済的な負担軽減を図るとともに現金ではなく商品券を給付とすることで、貯蓄に回ることがなく、消費活動が刺激される効果もあるため、「4」としました。		
公平性		●							対象者全員に対し、個別送付しているため、「4」としました。また、事情がある家庭については、個別に対応し確実に給付しました。		
将来性					●	新型コロナウイルス感染症対応として、時限的に実施した事業のため、「1」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020111

事業名		新生児バースデイ商品券給付事業		担当部署	健康こども部 健康支援課																																			
根拠法令																																								
令和2年度決算額		38,555	千円	項目評価		総合評価 A																																		
財源内訳	国道支出金	36,600	千円																																					
	地方債		千円																																					
	その他		千円																																					
	一般財源	1,955	千円																																					
事業費（総計）		40,671	千円																																					
決算額		38,555	千円																																					
人件費		2,116	千円																																					
事業の目的		特別定額給付金の給付対象とならない新生児に対し、市内限定で使用できる商品券を給付することにより、子育てにおける家計を支援します。																																						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>苫小牧市の住民基本台帳に登録されている令和2年4月28日から基準日（令和2年8月1日）までの乳児及び基準日（令和2年8月1日）から令和2年12月31日までに出生した新生児及び乳児に50,000円分の商品券を給付しました。</p>																																						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																																		
		給付件数	件	771	-	-																																		
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>商品券の給付により、子育て世帯における経済的な負担軽減を図ることができたため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>子育て世帯における経済的な負担軽減を図るとともに現金ではなく商品券を給付とすることで、貯蓄に回ることがなく、消費活動が刺激される効果もあるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>対象者全員に個別送付するとともに、新生児に対しては出生届提出の際に窓口にて給付するなど対象者に対し確実に給付しました。一方で令和3年1月1日以降に出生した新生児は対象とならなかったことから、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>新型コロナウイルス感染症対応として、時限的に実施した事業のため、「1」としました。</td> </tr> </tbody> </table>						高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				商品券の給付により、子育て世帯における経済的な負担軽減を図ることができたため、「4」としました。	効率性	●				子育て世帯における経済的な負担軽減を図るとともに現金ではなく商品券を給付とすることで、貯蓄に回ることがなく、消費活動が刺激される効果もあるため、「4」としました。	公平性		●			対象者全員に個別送付するとともに、新生児に対しては出生届提出の際に窓口にて給付するなど対象者に対し確実に給付しました。一方で令和3年1月1日以降に出生した新生児は対象とならなかったことから、「3」としました。	将来性				●	新型コロナウイルス感染症対応として、時限的に実施した事業のため、「1」としました。
	高 → 低				評価の理由																																			
	4	3	2	1																																				
有効性	●				商品券の給付により、子育て世帯における経済的な負担軽減を図ることができたため、「4」としました。																																			
効率性	●				子育て世帯における経済的な負担軽減を図るとともに現金ではなく商品券を給付とすることで、貯蓄に回ることがなく、消費活動が刺激される効果もあるため、「4」としました。																																			
公平性		●			対象者全員に個別送付するとともに、新生児に対しては出生届提出の際に窓口にて給付するなど対象者に対し確実に給付しました。一方で令和3年1月1日以降に出生した新生児は対象とならなかったことから、「3」としました。																																			
将来性				●	新型コロナウイルス感染症対応として、時限的に実施した事業のため、「1」としました。																																			
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。																																				
特記事項																																								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020201

事業名		緊急風しん抗体検査等事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		予防接種法						
令和2年度決算額		12,547	千円	項目評価		総合評価 A		
財源内訳	国道支出金	5,356	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	7,191	千円					
事業費（総計）		16,073	千円					
決算額		12,547	千円					
人件費		3,526	千円					
事業の目的		風しんのまん延を防止するため、風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の男性を対象とし、令和4年3月31日までの間に限り、抗体検査及び予防接種を実施します。						
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対策2年目となった令和2年度は、対象者全体のうち、昭和41年4月2日から昭和54年4月1日生まれの方へ無料クーポン券を送付 抗体検査を受け、抗体価が低いと診断された方には予防接種を実施（抗体検査及び予防接種の実施において本人の費用負担なし） <p>【令和2年度実施実績】※令和3年5月末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料クーポン券発行件数 15,297件 抗体検査実施件数 1,704件（抗体検査実施率 約11%） うち予防接種必要件数 347件 うち予防接種実施件数 241件（予防接種実施率 約69%） 						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		抗体検査実施率		%	11	16	-	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代が予防接種を受けることで、風しんのまん延防止・妊婦への感染防止につながることから、有効性は高いと考えます。
効率性			●					風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代に対象を限定し効率性を高めている一方、実施率は低調であるため、「3」としました。
公平性		●						対象者であれば、無料で抗体検査、抗体がない方については、予防接種が受けられるため、公平性は高いと考えます。
将来性		●				風しんのまん延防止・妊婦への感染拡大防止のため、抗体保有率を高めていく必要があります。		
総合評価		A				抗体検査実施率は11%に留まっていますが、抗体保有率は約80%となっており、国の目標である「対象世代の男性の抗体保有率90%」に近づいてきています。対策最終年度の2021年度に向け、抗体検査数のもとより、抗体陰性となった方に予防接種を受けてもらえるように、積極的な勧奨を実施していきます。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020202

事業名		新型コロナウイルス感染症対策医療支援等事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和2年度決算額		31,785	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他	31,000	千円			
	一般財源	785	千円			
事業費（総計）		33,195	千円			
決算額		31,785	千円			
人件費		1,410	千円			
事業の目的		新型コロナウイルス感染症への対応として、緊急に必要となる感染拡大防止対策や医療提供体制の整備等について、地域医療機関等の実情に応じて、柔軟かつ機動的に実施することができるよう、その実施に必要な費用を助成することにより、地域医療機関等を支援します。				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>医療機関に対するマスクなどの医療物資による支援と補助金の交付等を行いました。</p>				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
項目評価		高 → 低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				確保が困難となっていたマスクなどの医療物資を苫小牧市医師会を通じて医療機関へ支給するとともに、補助金という形で地域医療の実情に応じた支援を実施したことにより、地域医療を下支えできました。
効率性			●			時間を要することなく、迅速に環境を整備することができたため、「3」としました。
公平性		●				事業の対象は、市内医療機関を包括する苫小牧市医師会及び苫小牧歯科医師会であるため、公平性は高いと考えます。
将来性					●	新型コロナウイルス感染症対応として、時限的に実施した事業のため、「1」としました。
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020203

事業名		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業		担当部署	健康こども部 健康支援課、 新型コロナワクチン接種対策室				
根拠法令									
令和2年度決算額	43,061	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	43,061	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）	57,165	千円							
決算額	43,061	千円							
人件費	14,104	千円							
事業の目的	新型コロナウイルスワクチンが実用化された際に早期に市民に対する接種を開始できるよう、ワクチン接種の優先順位を踏まえ、必要な接種体制の確保を図ります。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <p>接種に必要な接種券の発送準備やコールセンターの開設による問合せ対応、集団接種会場開設準備など、必要な接種体制の確保を図りました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						新型コロナウイルスワクチン接種の体制を構築することは、スムーズなワクチン接種の開始と接種率向上に寄与するため、「4」としました。	
	効率性	●						コールセンターを設置するなど、体制を整備し、業務の効率化を図っているため、「4」としました。	
	公平性	●						16歳以上（令和3年6月1日以降は12歳以上に拡大）の全市民を対象とする予防接種に関する事業であるため、公平性は高いものと考えます。	
将来性	●				ワクチン接種により、発症や重症化を防ぐとともに、より多くの人がワクチンを接種することで集団免疫を獲得でき、新型コロナウイルスのまん延防止に寄与するため、引き続きワクチン接種を進めていく必要があります。				
総合評価	A				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できています。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020301

事業名		がん検診推進事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		健康増進法						
令和2年度決算額	4,672	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	1,218	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	3,454	千円					
事業費（総計）	9,156	千円		総合評価	A			
決算額	4,672	千円						
人件費	4,484	千円						
事業の目的	国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」に基づき、がんに対する正しい知識、健康意識の向上を図り、がんの早期発見のため、がん検診の受診を促進します。							
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>がん検診受診率を向上させるために、特定の年齢に達した方々に対し、無料クーポン券の発送によるがん検診受診のきっかけづくりや受診歴のない者へ個別に受診勧奨を実施しました。</p> <p>1 無料クーポン券発送</p> <p>(1) 子宮頸がん検診 20歳の方（4月1日時点）</p> <p>(2) 乳がん検診 40歳の方（4月1日時点）</p> <p>2 受診勧奨及び再勧奨</p> <p>(1) 子宮頸がん及び乳がん検診クーポン券対象の未受診者へ個別に受診勧奨</p> <p>(2) 令和元年度受診率の低かった、子宮頸部がん、乳がんに重点をおき、40歳～50歳の偶数年齢の女性にはがきによる個別勧奨を実施。</p>							
実施結果 (活動指標)			単位	R2年度	R1年度	H30年度		
	クーポン券発送回数（子宮・乳）			回	1	1	1	
	がん検診受診勧奨及び再勧奨回数			回	3	9	14	
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						がん検診の受診により、がんの早期発見、早期治療につながることから、「4」としました。
	効率性	●						がん検診の有効性や受診料金の助成があることをわかりやすく説明した個別はがきによる受診勧奨を行った結果、送付者の30～40%が受診行動につながったため、「4」としました。
	公平性	●						対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。
将来性	●				今後も無料クーポンの送付及び個別の受診勧奨を継続し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を目指します。			
総合評価	A				令和2年度の受診者は、子宮頸がん、乳がん共に前年度より増加しました。はがきによる個別勧奨を行った後の乳がん、子宮頸がん検診受診者が増加したことから、はがきでの個別勧奨が検診受診の契機になったと考えます。今後も、より受診者が増えるよう勧奨時期を見直し、個別勧奨を継続します。			
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020302

事業名		肝炎ウイルス検診推進事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令		健康増進法				
令和2年度決算額		8,760	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	6,587	千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	2,173	千円			
事業費（総計）		12,991	千円			
決算額		8,760	千円			
人件費		4,231	千円			
事業の目的		特定の年齢に達した方々に対して肝炎ウイルス検診の受診を促進し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより、肝炎による健康被害を回避し、進行を遅延させることを目的とします。また、肝炎ウイルスについての正しい知識を普及します。				
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>特定の年齢に達した方々に対し、無料クーポン券を発送し、肝炎ウイルス検診の受診勧奨を図りました。</p> <p>無料クーポン券対象者 40・45・50・55・60・65歳男女（4月1日時点）</p> <p>※過去に肝炎ウイルスを受診した方は、対象外（B型・C型のいずれか一方の検診経験のある方は検診歴のないウイルス型の検診であれば受診可能）</p>				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		無料クーポン券発送回数	回	1	1	1
項目評価		高 → 低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				肝炎ウイルス検診の受診により、疾病の早期発見、早期治療につながることから、「4」としました。
効率性		●				過去に当該肝炎ウイルス検診を受けたことのある人は無料クーポンの対象者から省き案内しています。
公平性		●				対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。
将来性		●				今後も毎年無料クーポンの送付、個別の受診勧奨を継続し、受診率向上を目指します。
総合評価		A		無料クーポン券の発送により、肝炎ウイルス検診を受診する契機になっています。今後も継続して肝炎の正しい知識の普及啓発を図っていきます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020303

事業名		こころの健康づくり事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令		自殺対策基本法				
令和2年度決算額		850	千円	項目評価	<p>有効性 将来性 効率性 公平性</p>	
財源内訳	国道支出金	510	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価</div> A		

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020304

事業名		中学生へのピロリ菌検査・除菌支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令								
令和2年度決算額		1,831	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	1,831	千円					
事業費（総計）		3,241	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価								
A								
決算額		1,831	千円					
人件費		1,410	千円					
事業の目的		胃がん、慢性胃炎及び胃・十二指腸潰瘍等の主な原因となるピロリ菌について、若年期のうちに検査・除菌することにより、将来的なそれらの病気の予防や子どもへの感染を予防できることから、中学2年生を対象に行います。						
事業の内容		SDGs17の目標 						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		一次検査受検率	%	92.5	87.9	87.4		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				各検査いずれも高い受検率となっていることから、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。※一次検査受検率92.5%、二次検査受検率98.6%、除菌治療受検率100%		
効率性			●			学校保健安全法による尿検査と同時に一次検査を実施することで効率性を高めています。		
公平性		●				保護者から同意が得られた全ての中学2年生を対象としているため、「4」としました。		
将来性		●				若年期のうちにピロリ菌検査・除菌することで、将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防が期待できることから、「4」としました。		
総合評価		A		将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防や子どもへの感染予防の観点から、学校保健安全法による尿検査との同時実施を継続します。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020305

事業名		歯周病検診事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令		健康増進法				
令和2年度決算額		3,916	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	2,571	千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	1,345	千円			
事業費（総計）		6,737	千円			
決算額		3,916	千円			
人件費		2,821	千円			
事業の目的		成人期は歯周病に罹患する人が増加する時期であることから、特定の年齢に達した方々を対象に、健康増進法に基づく歯周病検診を実施します。				
事業の内容 SDGs17の目標 		特定の年齢に達した方々に対し、歯周病検診受診券を発送し、歯周病検診の受診勧奨を図りました。 1 受診券対象者 40・50・60・70歳男女 2 検診費用 540円（満70歳の方、市民税非課税世帯、生活保護世帯の方は無料） 3 有効期限 対象年齢の誕生日を迎えてから、次の誕生日の前日まで				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		受診券発送回数	回	2	2	2
項目評価		高 → 低 4 3 2 1		評価の理由		
有効性		●				令和2年度の受診者のうち、45.5%が要精密検査となり、精密検査受診者のうち93%が要治療と診断され治療につながっていることから事業の有効性は高いと考えています。
効率性			●			6月と9月の2回に分けて受診券を発送し、受診勧奨を行いました。
公平性		●				対象者全員に受診券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。
将来性		●				歯周病検診により、異常の発見、歯周疾患の治療につなげることは、将来的な医療費削減に大きく貢献することから、「4」としました。
総合評価		A		歯周病は、歯の喪失をもたらす疾患であり、成人期においてはいまだに有病率等が高いこと、全身疾患や生活習慣との関係が注目されていること等から、引続き歯周病予防対策を推進していきます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020306

事業名		健康フェスタ事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令								
令和2年度決算額		446	千円	項目評価		総合評価 B		
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	446	千円					
事業費（総計）		2,562	千円					
決算額		446	千円					
人件費		2,116	千円					
事業の目的		健康づくりに関し、市民が参加できるイベント型で事業を実施します。当事業への参加をきっかけに市民一人ひとりが健康を意識し、能動的かつ継続的に健康づくりに取り組むことができる環境整備を行います。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベント型の事業を中止し、下記の代替策を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康に関する情報を普及・啓発する目的で、「コロナ禍でのフレイル予防」の内容でリーフレットを新聞折り込みにて情報発信しました。 庁舎内に貯筋体操の掲示を行い、運動の普及を図りました。 						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度
		健康フェスタ参加者数			人	中止	1,512	1,171
項目評価		高 → 低			評価の理由			
		4	3	2	1			
有効性				●		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止しました。今後は対象者やテーマを絞るなど、コロナ過における実施方法を検討する必要があります。		
効率性			●			新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベント型の事業を中止したため、リーフレットを作成し、新聞折込による健康情報を発信しました。		
公平性				●		全市民に健康情報を伝えるには至りませんでした。		
将来性			●			これまで不特定多数の市民を対象とした事業でしたが、より健康意識の向上につながる事業となるよう、対象者を絞り必要な方に十分健康情報を伝えられる内容・方法に変えていくことが必要と考えます。		
総合評価		B			これまでポピュレーションアプローチを目的とした事業を展開してきました。今後は次の段階の取組が必要であり、継続的な生活習慣改善には意識づくりと仲間づくりが重要であるとの考えのもと、市民同士の口コミによる健康情報の伝達により、健康に関心を持つ仲間を増やすことで、市民の健康意識の向上につながります。			
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020307

事業名		夜間・休日急病センター開設経費		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
令和2年度決算額		7,671	千円	項目評価		総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	7,671	千円						
事業費（総計）		8,024	千円						
決算額		7,671	千円						
人件費		353	千円						
事業の目的		平成20年度に建設した夜間・休日急病センターについて、建物は一般財団法人ハスカッププラザから市が借用していることから、家賃相当分として建設費の元利償還金分を支払います。							
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>夜間・休日急病センターの建設費元利償還金分を支払います。</p> <p>※建設費元利償還金総額 平成21年度～令和15年度 191,886千円</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		夜間・休日急病センター開設経費補助金		千円	7,671	7,671	7,671		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●						夜間・休日における急病患者の医療確保につながるため、「4」としました。	
効率性		●						より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。	
公平性		●						一次救急医療の拠点として広く一般市民が利用できる施設であるため、「4」としました。	
将来性		●				市民の健康の保持に必要な施設であるため、「4」としました。			
総合評価		A				休日当番医とともに地域における救急医療体制の整備を図ることができました。引き続き、令和3年度から令和15年度までに総額99,720千円を支出します。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020308

事業名		苦小牧市保健センター建設費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
令和2年度決算額		40,103	千円	項目評価		総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	40,103	千円						
事業費（総計）		40,456	千円						
決算額		40,103	千円						
人件費		353	千円						
事業の目的		平成26年度に建設した苦小牧市保健センターについて、建物は一般財団法人ハスカッププラザから市が借用していることから、家賃相当分として建設費の元利償還金分を支払います。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>苦小牧市保健センターの建設費の元利償還金分を支払います。</p> <p>※建設費元利償還金総額 平成27年度～令和26年度 1,203,161千円</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		苦小牧市保健センター建設費補助金		千円	40,103	40,103	40,103		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●						保健センターでの各種健康診査等の実施により、市民の健康の保持及び増進に寄与しているため、「4」としました。	
効率性		●						より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。	
公平性		●						市民の健康の保持及び増進を図るために設置した施設であり、広く市民が利用できるため、「4」としました。	
将来性		●				市民の健康の保持及び増進に必要な施設であるため、「4」としました。			
総合評価		A				施設の充実を図ることで、ヘルスプロモーション事業（運動教室、健康栄養相談など）といった様々な事業を実施することができました。引き続き、令和3年度から令和26年度まで総額962,479千円を支出します。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020309

事業名		呼吸器内科クリニック医療機器等整備補助		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和2年度決算額		17,000	千円	項目評価		総合評価
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他	17,000	千円			
	一般財源		千円			
事業費（総計）		18,410	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>		
決算額		17,000	千円			
人件費		1,410	千円			
事業の目的		平成28年4月に苫小牧市呼吸器内科クリニックを開設するにあたり、必要となった医療機器の整備に対し補助します。				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>苫小牧市呼吸器内科クリニックの医療機器等整備に対し補助します。</p> <p>※医療機器等整備補助総額 平成28年度～令和2年度 85,000千円を支出します。</p>				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		呼吸器内科クリニック医療機器等整備補助金	千円	17,000	17,000	17,000
項目評価		高 → 低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				医療機器等の整備により地域医療の拡充につながるため、「4」としました。
効率性		●				より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。
公平性		●				広く一般市民が受診できるクリニックであるため、「4」としました。
将来性		●				医療機器等の整備により地域医療の拡充につながるため、「4」としました。
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020310

事業名		就学前フッ化物洗口支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令							
令和2年度決算額		211	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	211	千円				
事業費（総計）		1,621	千円	総合評価	A		
決算額		211	千円				
人件費		1,410	千円				
事業の目的		幼児（就学前）のフッ化物使用により、丈夫な歯質が作られ、就学前後に生え始める永久歯に効果が得られることから、虫歯予防のためのフッ化物洗口事業を支援します。					
事業の内容		SDGs17の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1 年長児を対象としたフッ化物洗口を実施する市内の保育・幼児施設に対し、使用する薬剤を提供し継続的な実施を支援しました。 2 フッ化物洗口の方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) フッ化物薬剤（オラブリス）を水に溶かして0.1%の洗口液を作ります。 (2) 洗口液5mlをコップへ注ぎ、1分間うがいを行います。 (3) 上記を週2回実施します。 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		実施園		件	28	28	23
		実施園児数		人	578	773	637
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				就学前の幼児は、永久歯が生え始める時期で、この時期からフッ化物洗口を行うことにより丈夫な歯質が作られ、虫歯予防のひとつとして有効であることから、「4」としました。	
効率性		●				フッ化物洗口は、少ない費用で実施できることから、「4」としました。	
公平性			●			新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせる園があったため、「3」としました。	
将来性		●				健康な生活を送る上で歯は重要であり、永久歯が生え始める幼児期からむし歯を予防することで、将来的な医療費削減に大きく貢献することから、「4」としました。	
総合評価		A		平成27年度から全小学校でフッ化物洗口が導入されたことにより、本市の12歳児の一人平均う歯数は平成27年度1.53から令和元年度0.98と減少しています。今後もフッ化物洗口の有効性や実施時の感染対策について周知しながら、事業を実施していきます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020311

事業名		受動喫煙防止対策事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令		健康増進法					
令和2年度決算額		99	千円	項目評価		総合評価 A	
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	99	千円				
事業費（総計）		804	千円				
決算額		99	千円				
人件費		705	千円				
事業の目的		喫煙が及ぼす健康への影響について、正しい知識の普及啓発を図るとともに、民間施設における分煙設備などの整備に対する助成を行い、「受動喫煙のない、空気のきれいな健康のまち」を目指すことを目的とします。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 苦小牧市空気もおいしい施設の認定 <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内又は屋内を全面禁煙としている民間施設を「苦小牧市空気もおいしい施設」として認定し、認定証とステッカーを交付 苦小牧市受動喫煙防止対策助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における分煙設備などの整備に対し、国の受動喫煙防止対策助成金に上乘せし、助成金を交付 (助成上限額) 1事業所あたり10万円 苦小牧市飲食店全面禁煙化補助金の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・店舗を全面禁煙化に取り組む既存特定飲食提供施設に対し、店舗クリーニング費用等の一部を補助 (助成上限額) 1店舗あたり5万円 					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		空気もおいしい施設認定件数		件	10	34	-
項目評価		高 → 低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性			●			新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、空気もおいしい施設の認定申請と受動喫煙防止対策助成金申請の件数は、ともに前年度を下回りましたが、受動喫煙防止と啓発につなげることができたことから、有効性を「3」としました。	
効率性			●			市民や事業者の方々に適切な受動喫煙対策を講じていただくには、中長期的に継続した取組が必要であることから、効率性を「3」としました。	
公平性		●				受動喫煙の防止に向けては、すべての市民、事業者等が相互に連携及び協力して取り組むものであるため、公平性は高いものと考えます。	
将来性		●				市民の健康増進を図るため、受動喫煙が健康に及ぼす悪影響について、市民の理解促進に努め、受動喫煙を防止する環境づくりを推進します。	
総合評価		A				改正健康増進法により、受動喫煙防止の取組を推進することは地方公共団体の責務となっていることから、効率的な事業の実施に努めていきます。	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020312

事業名		健康カレンダー作成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令		健康増進法				
令和2年度決算額		1,771	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	1,771	千円			
事業費（総計）		2,476	千円			
決算額		1,771	千円			
人件費		705	千円			
事業の目的		若年層や子育て世代、高齢者まで幅広い世代に対し、子育てや健康づくりに関する情報を届けることを目的としています。				
事業の内容 SDGs17の目標		<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種健診・検診の日程やイベント開催予定などを掲載した「わが家の健康カレンダー」を年4回発行し全戸配布 令和元年度から「公共サービス民間提案制度」を導入し、カレンダーの作成及び配布業務を民間委託（平成30年度までは直営実施、冊子形式で年1回発行） 紙媒体での発行のほか、受託事業者が運営するウェブサイト健康カレンダーの内容を掲載しオンラインでの情報発信にも対応 <p>■カレンダー仕様 B4サイズ、両面カラー印刷 ■発行時期 4月、7月、10月、1月（各号3か月分掲載）</p>				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
項目評価		高 → 低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性				●		タイムリーな情報発信が可能である一方、チラシ形式での配布により、見落とししてしまうとの意見があったため、「2」としました。
効率性		●				公共サービス民間提案制度により民間委託したことで、カレンダー作成に係る職員の業務量が軽減され、人件費削減につながったため、「4」としました。
公平性		●				全世帯に配布しているため、「4」としました。
将来性				●		広報やSNSを活用したタイムリーな情報発信は可能であるため、「2」としました。
総合評価		D		広報やSNSの活用により、各種検診や健康イベント等の市民周知は可能であるため、令和2年度で事業終了とします。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020313

事業名		PCR検査センター設置支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和2年度決算額		1,000	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	1,000	千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源		千円			
事業費（総計）		1,705	千円			
決算額		1,000	千円			
人件費		705	千円			
事業の目的		北海道の委託事業により設置された苫小牧PCR検査センターの設置にかかる費用のうち、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の支援施策対象外の部分を補助することにより、地域の医療体制の維持と検査体制の強化に資します。				
事業の内容		北海道の委託事業により設置された苫小牧PCR検査センターの設置にかかる費用のうち、北海道の委託により賄うことができない費用を補助します。				
SDGs17の目標						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
項目評価		高 → 低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				地域の医療体制の維持と検査体制の強化に寄与したため、「4」としました。
効率性		●				時間を要することなく、迅速に環境を整備することができたため、「4」としました。
公平性			●			PCR検査センターの利用は、市内医療機関の医師がPCR検査が必要と認められた場合に限られるため、「3」としました。
将来性		●				PCR検査センターの設置及び支援は、新型コロナウイルスの感染を早期に確認し、その後の感染拡大防止に寄与するため、「4」としました。
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020314

事業名		保健センター補償金		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令								
令和2年度決算額		11,601	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	11,601	千円					
事業費（総計）		13,011	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価								
A								
決算額		11,601	千円					
人件費		1,410	千円					
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保健センターに係る利用料金等の減収分について指定管理者へ補償します。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、受診者が減少した保健センター（夜間・急病部門）に対して補てんを行いました。</p>						
SDGs17の目標								
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				新型コロナウイルスの影響により減少した利用料金収入の補てんは安定した施設の管理運営に寄与するため、「4」としました。		
効率性		●				必要最小限の補てんであるため、「4」としました。		
公平性		●				公共施設を管理運営する指定管理者への補償であり、公平性は高いと考えます。		
将来性			●			新型コロナウイルス感染症による影響によりますが、安定的な運営を行っていくには必要であると考えていることから「3」としました。		
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020315

事業名		保健センター等医療機器整備事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和2年度決算額		18,601	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	17,700	千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	901	千円			
事業費（総計）		20,011	千円			
決算額		18,601	千円			
人件費		1,410	千円			
事業の目的		<p>苦小牧市保健センター及び苦小牧市夜間・休日急病センターが実施する各種検診・診療等に必要の医療機器を整備することにより、市民の健康の保持及び増進を図ります。</p>				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【超音波診断装置】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【デジタル眼底カメラ】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【CT装置接続用カラープリンター】</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>【X線撮影装置】</p> </div>				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				市民の健康保持及び増進と夜間・休日における急病患者の医療確保につながるため、「4」としました。
効率性		●				時間を要することなく、迅速に環境を整備することができたため、「4」としました。
公平性		●				苦小牧市保健センター等は各種健康診査等の健康づくりと一次救急医療の拠点として広く市民が利用できる施設であるため、「4」としました。
将来性		●				最新の医療機器を整備することで、市民の健康保持及び増進と夜間・休日における急病患者の医療確保を図ることができます。
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020316

事業名		地域医療保持・推進事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和2年度決算額		10,000	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他	10,000	千円			
	一般財源		千円			
事業費（総計）		10,705	千円			
決算額		10,000	千円			
人件費		705	千円			
総合評価						
A						
事業の目的		<p>苫小牧市保健センターが巡回健診等で使用する胃胸部X線撮影装置搭載巡回検診車の整備に必要な費用の一部を補助することにより、検診車の整備に伴う補助事業者の財政的負担を軽減し、もって地域医療の保持及び推進に資することを目的とします。</p>				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>苫小牧市保健センターが巡回健診等で使用する検診車の整備に必要な費用の一部を補助します。</p> <p>1 補助事業者 一般財団法人 ハスカッププラザ 2 補助対象経費 検診車を整備するために必要な経費 3 基準額 10,000千円 4 補助率 10/10以内</p>				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
項目評価		高 → 低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				巡回検診車を整備することで、市民の健康保持につながるため、「4」としました。
効率性		●				より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。
公平性		●				苫小牧市保健センターは各種健康診査等の健康づくりと一次救急医療の拠点として広く一般市民が利用できる施設であるため、「4」としました。
将来性		●				苫小牧市保健センターの巡回検診車を整備することで、引続き事業所健診や町内会館を会場としたがん検診等の実施が可能となるため、市民の健康保持及び増進を図ることができます。
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を展開することができました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020401

事業名		公衆浴場確保対策事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令		苫小牧市公衆浴場助成要綱							
令和2年度決算額		750	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	750	千円						
事業費（総計）		1,455	千円			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>		総合評価	
総合評価									
A									
決算額		750	千円						
人件費		705	千円						
事業の目的		公衆浴場法第2条第1項による許可を受けたものであって物価統制令第4条により入浴料金が定められている公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、公衆浴場の確保を図り、市民の保健衛生の向上に資することを目的とします。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 3 すべての人に健康と福祉を </div> <div style="text-align: center;"> 6 安全な水とトイレを世界中に </div> </div> <p>1 公衆浴場確保対策事業について 松の湯、公園湯、大豊湯に対し補助金を交付しました。</p> <p>【参考】 ○助成額基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴率が60%未満 500,000円 ・入浴率が60%以上70%未満 300,000円 ・入浴率が70%以上80%未満 200,000円 ・入浴率が80%以上100%未満 125,000円 <p>（入浴率とは、平均入浴客数を基準入浴客数で除して得た数）</p>							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		助成件数		件	3	2	1		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				公衆浴場経営が困難な状況において、入浴率が低い公衆浴場経営者に対するこの補助金の有効性は高いものと考え、「4」としました。			
効率性			●			可能な限り早い段階で浴場経営者へのヒアリングを実施し、漏れがなく効果的な事業となるよう意識しており、「3」としました。			
公平性			●			すべての浴場経営者への周知の徹底を行い、公平な事業となるよう調整を図っており、また、市民の保健衛生の向上に資することから、「3」としました。			
将来性		●				社会をとりまく情勢の変化により、浴場利用に対する意識が変化し、「単に入浴できれば良い」から、自宅の浴室では味わえない付加価値的なニーズに応えられる施設として将来にわたっての安定的な経営が必要と考えており、「4」としました。			
総合評価		A		依然として公衆浴場経営が困難な傾向にあり、市民の保健衛生の向上に資することから、助成額の増額や助成内容の拡充などについて検討する必要があると考えています。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020402

事業名		霊葬場整備事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課	
根拠法令		墓地、埋葬等に関する法律、苫小牧市高丘霊葬場条例				
令和2年度決算額		16,830	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	16,830	千円			
事業費（総計）		18,240	千円			
決算額		16,830	千円			
人件費		1,410	千円			
事業の目的		高丘霊葬場は、人生終焉の場として市民生活に不可欠な施設であります。平成9年度の供用開始から20年以上が経過し火葬炉設備等の劣化が著しいことから、計画的な点検整備を行い、安定した業務を実施します。				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 霊葬場整備事業について 安定的サービスを提供するため、下記の工事を実施しました。</p> <p>【主な工事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉内台車新規取替（3台分） ・主燃焼室N煉瓦、側壁及びセラミック全面取替（5、6号炉） ・再燃焼室点検口納入取替（2号炉） ・主燃焼バーナ用バーナコンパスター及び燃焼コック取替（6、7号炉） ・主燃焼バーナ本体交換修繕（5号炉） ・パワーシリンダー交換（1、2、4、胞衣炉） 				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		火葬件数	件	2,065	2,086	2,068
		会葬者数	人	24,134	32,168	34,412
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				施設の老朽化による小規模な故障等はあるが、安定的なサービスを提供することができていることから、事業の有効性は高く、費用対効果についても高いものと考え、「4」としました。
効率性		●				高丘霊葬場は止めることのできない施設として位置づけており、精度の高い保守点検により効率的な事業を実施していることから、「4」としました。
公平性		●				霊葬場指定管理者及び保守点検事業者とは必要に応じて意見交換の場を設け、十分な調整を行ったうえで事業の実施に努めています。また、市民の声を参考に施設管理の方法等の見直し図っていることから、「4」としました。
将来性		●				将来においても、引き続き火葬炉の停止等による利用者へのサービス低下を招かないよう、安定的なサービスを提供していく必要があることから、「4」としました。
総合評価		A		定期整備の実施に加え、2040年頃まで火葬件数の増加が見込まれることから、増炉等大規模改修に向けた取組を進めていきます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020403

事業名		霊園管理基金積立金		担当部署	環境衛生部 環境生活課																																			
根拠法令		苫小牧市霊園管理基金条例																																						
令和2年度決算額		2,144	千円	項目評価																																				
財源内訳	国道支出金		千円																																					
	地方債		千円																																					
	その他	2,144	千円																																					
	一般財源		千円																																					
事業費（総計）		2,849	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>			総合評価		A																															
総合評価																																								
A																																								
決算額		2,144	千円																																					
人件費		705	千円																																					
事業の目的		霊園管理基金（以下「基金」という。）は、昭和57年7月から新規墓所の管理料を積み立て、運用利息により霊園の維持管理費を賄うこと（果実運用型基金）を目的として設置しました。平成29年度からは、共同墓の管理料の2分の1を将来予想される共同墓の修繕費用に充てるため、積み立てを継続します。																																						
事業の内容		SDGs17の目標 <p>1 基金の積立及び取り崩しについて 基金について、下記のとおり積立、取り崩しを行いました。</p> <p>○平成18年度の条例改正により、基金の取り崩しを可能にしました。 ○平成29年度の共同墓設置により、共同墓管理料の2分の1を積み立てることとしました。</p> <table> <tr> <td>令和元年度末基金残高</td> <td>62,036,147円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度基金積立金</td> <td>2,144,000円（令和元年度上振分88,000円を含む）</td> </tr> <tr> <td>令和2年度基金取崩し額</td> <td>▲7,351,670円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度末基金残高</td> <td>56,828,477円</td> </tr> </table>					令和元年度末基金残高	62,036,147円	令和2年度基金積立金	2,144,000円（令和元年度上振分88,000円を含む）	令和2年度基金取崩し額	▲7,351,670円	令和2年度末基金残高	56,828,477円																										
令和元年度末基金残高	62,036,147円																																							
令和2年度基金積立金	2,144,000円（令和元年度上振分88,000円を含む）																																							
令和2年度基金取崩し額	▲7,351,670円																																							
令和2年度末基金残高	56,828,477円																																							
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の年度末残高</td> <td>千円</td> <td>56,828</td> <td>62,036</td> <td>67,437</td> </tr> <tr> <td>積立金額</td> <td>千円</td> <td>2,144</td> <td>2,224</td> <td>2,972</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	基金の年度末残高	千円	56,828	62,036	67,437	積立金額	千円	2,144	2,224	2,972																				
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																																				
基金の年度末残高	千円	56,828	62,036	67,437																																				
積立金額	千円	2,144	2,224	2,972																																				
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基金は、これまでも霊園維持管理費の不足分や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考えていることから、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td>新規墓所の貸付可能数がなくなったこと、また、共同墓については供用開始年度以降は受付体数の逡減により基金の減少が見込まれることから、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで活用してきたことから、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td>将来において大規模改修工事が必要になり、基金が残っていない場合、一般財源で全額を賄うことになり、財政支出を平準化する上で必要なことから、「3」としました。</td> </tr> </tbody> </table>						高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				基金は、これまでも霊園維持管理費の不足分や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考えていることから、「4」としました。	効率性		●			新規墓所の貸付可能数がなくなったこと、また、共同墓については供用開始年度以降は受付体数の逡減により基金の減少が見込まれることから、「3」としました。	公平性	●				平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで活用してきたことから、「4」としました。	将来性		●			将来において大規模改修工事が必要になり、基金が残っていない場合、一般財源で全額を賄うことになり、財政支出を平準化する上で必要なことから、「3」としました。
	高 → 低				評価の理由																																			
	4	3	2	1																																				
有効性	●				基金は、これまでも霊園維持管理費の不足分や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考えていることから、「4」としました。																																			
効率性		●			新規墓所の貸付可能数がなくなったこと、また、共同墓については供用開始年度以降は受付体数の逡減により基金の減少が見込まれることから、「3」としました。																																			
公平性	●				平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで活用してきたことから、「4」としました。																																			
将来性		●			将来において大規模改修工事が必要になり、基金が残っていない場合、一般財源で全額を賄うことになり、財政支出を平準化する上で必要なことから、「3」としました。																																			
総合評価		A				貸付が可能な造成済みの新規墓所が令和2年度をもってなくなり、今後の基金の在り方について方向性を示す時期を迎えていることから、検討を進めていきます。																																		
特記事項																																								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020404

事業名		霊園改修等事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令									
令和2年度決算額		968	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	484	千円						
	一般財源	484	千円						
事業費（総計）		3,084	千円						
決算額		968	千円						
人件費		2,116	千円						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">総合評価</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table>							総合評価	B	
総合評価	B								
事業の目的		高丘霊園及び高丘第二霊園ともに供用開始から長い年数が経過しており、これまで年次的に必要な施設の改修を実施してきましたが、いまだ一部施設の劣化が著しいため、高齢者や障がい者に優しく安心して墓参できるよう施設の改修を行います。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <p>1 霊園改修等事業について 霊園利用者の安全の確保など防犯上の観点から、下記の工事を実施しました。</p> <p>【工事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高丘第二霊園第二トイレ撤去工事 (平成30年度に老朽化により閉鎖し、別にトイレを新設したため。) 							
実施結果（活動指標）			単位	R2年度	R1年度	H30年度			
トイレ設置数（▲表示は撤去）			箇所	▲ 1	-	2			
スロープ設置数			箇所	-	-	1			
階段設置数			箇所	-	1	-			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3				2	1	
有効性		●							高丘霊園及び高丘第二霊園については、供用開始から長い年数が経過し施設の老朽化が著しい状況となっており、これまでの大規模改修工事により一定程度必要な施設の改修ができたと考えていることから、「4」としました。
効率性			●						老朽化により令和2年度から閉鎖していた高丘第二霊園第二トイレについて、防犯上の観点から撤去し、早期に安全性を確保できたことから、「3」としました。
公平性			●						高齢者や障がい者など、誰もが安心して墓参できるよう施設の維持管理に努めていることから、「3」としました。
将来性			●			今もなお、一部施設の劣化が見受けられるため、今後も緊急性などを見極めながら施設の改修・バリアフリー化を図っていく必要があることから、「3」としました。			
総合評価		B		平成26年度から平成29年度までの大規模改修工事により施設の改修を実施してきましたが、いまだ一部施設の劣化が著しいため、利用者の利便性や安全性の向上のため、今後も緊急性を要するものは適宜改修を行う必要があります。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 01清掃総務費

事務事業番号 04030101

事業名		一般廃棄物処理基本計画策定事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課															
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律																		
令和2年度決算額		5,737	千円	項目評価																
財源内訳	国道支出金		千円																	
	地方債		千円																	
	その他		千円																	
	一般財源	5,737	千円																	
事業費（総計）		9,968	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A										
総合評価																				
A																				
決算額		5,737	千円																	
人件費		4,231	千円																	
事業の目的		<p>一般廃棄物処理基本計画は、法律に基づき策定するものであり、循環型社会の構築を目指し、本市のごみ処理や生活排水処理に関する課題、昨今の社会情勢等を考慮し、基本方針や数値目標、施策等を取りまとめ策定します。</p> <p>なお、今計画改定は、長期計画の後期分を見直しするものであります。</p>																		
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 11 住み続けられるまちづくりを </div> <div style="text-align: center;"> 12 つくる責任 つかう責任 </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 苦小牧市廃棄物減量等推進審議会を開催しました。 市民意見提出手続（パブリックコメント）を実施しました。 苦小牧市議会において、代表質問の議論及び委員会報告を行いました。 																		
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パブリックコメントへの意見</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>苦小牧市廃棄物減量等推進審議会開催回数</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	パブリックコメントへの意見	件	1	-	-	苦小牧市廃棄物減量等推進審議会開催回数	回	2	-	-
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																
パブリックコメントへの意見	件	1	-	-																
苦小牧市廃棄物減量等推進審議会開催回数	回	2	-	-																
項目評価		高 → 低		評価の理由																
		4	3	2	1															
有効性		●				法律に基づき策定しているものであり、今後の一般廃棄物処理の指針となるため、「4」としました。														
効率性			●			本計画は、今後の事業展開の指針となるものであるため、「3」としました。														
公平性		●				本計画策定のプロセスで、苦小牧市廃棄物減量等推進審議会やパブリックコメント、市議会への説明など、広く意見を取り入れたことから、「4」としました。														
将来性		●				本計画策定は法律に基づくものであり、今後も適宜策定や改定を行い、計画に沿った事業を実施する必要があることから、「4」としました。														
総合評価		A		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、本計画に基づき「ごみの減量/リサイクルの推進/まちの環境美化」に取り組んでいきたいと考えています。																
特記事項																				

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 01清掃総務費

事務事業番号 04030102

事業名		053（ゼロごみ）大作戦～ステージ5～事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課			
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
令和2年度決算額		11,416	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					総合評価
	地方債		千円					
	その他	11,118	千円					
	一般財源	298	千円					
事業費（総計）		26,225	千円					A
決算額		11,416	千円					
人件費		14,809	千円					
事業の目的		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」を実現するため、大作戦の基本テーマである「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を企画し、市民と行政が一体となって実施します。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品ロス対策や生ごみの有効利用について <ul style="list-style-type: none"> 給食残渣の一部を堆肥化し、沼ノ端クリーンセンターの花壇で利用しました。 食品ロス対策となる冷蔵庫の余った食材を使用したクッキング講座を開催しました。 新たな情報発信について <ul style="list-style-type: none"> 市内の全地域のごみ排出カレンダーに対応し、お知らせ機能の付いた、ごみ分別アプリを導入しました。 職員が自ら作詞作曲を行い、053大作戦の新たなテーマソングを作成しました。 SNS媒体（YouTube・Instagramなど）で幅広い世代に情報発信しました。 大掃除活動によるまちの環境美化について <ul style="list-style-type: none"> 町内会や各企業、団体等と連携し、ごみ拾いを実施しました。 ごみの減量や環境美化活動に積極的な市民及び団体に感謝の気持ちとして「ありがとう袋」を作成し配布しました。 						
実施結果（活動指標）				単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		053大作戦～ステージ5～（参加延べ人数）		人	108,345	-	-	
		ごみ分別アプリダウンロード数		件	2,874	-	-	
		ありがとう袋配布件数		件	110	-	-	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」は市民の協力が不可欠であります。今回の大作戦事業により広く市民への周知啓発が図られたため、「4」としました。		
効率性		●				啓発活動において、周知事業やSNSでの発信など職員が自前で作成を行い、最低限の経費で展開したため、「4」としました。		
公平性			●			広報紙やSNS、分別アプリを利用して広く周知してきたことから、「3」としました。		
将来性		●				「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」に協力していただく市民のすそ野を広げるために、今後も事業を継続する必要があることから、「4」としました。		
総合評価		A		コロナ禍で感染拡大防止の制限を受ける中、工夫を凝らして、様々な事業を実施してきました。大作戦は終了しましたが、「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」は永遠のテーマであるため、引き続き取り組んでまいります。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030201

事業名		資源物中間処理事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課					
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例								
令和2年度決算額		214,361	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>項目評価</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>総合評価</p> <h1 style="margin: 0;">A</h1> </div> </div>						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他	162,138	千円							
	一般財源	52,223	千円							
事業費（総計）		215,771	千円							
決算額		214,361	千円							
人件費		1,410	千円							
事業の目的		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、ごみとして出された資源物（プラスチック、缶、びん、ペットボトル、紙パック）を選別する中間処理業務を実施し、ごみの減量とリサイクルを推進します。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> </div> </div> <p>1 各家庭からごみとして排出されたものを分別することで、資源物としてリサイクルするための中間処理事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器包装プラスチックとその他プラスチックの選別 ・缶、びん、ペットボトル、紙パックの選別 ・事業系びんを資源化 								
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		リサイクル率		%	30.8	31.2	31.4			
		容器包装プラスチック資源化量		トン	2,553	2,506	2,493			
		資源物出荷量（缶・びん・ペット・紙パック）		トン	1,689	1,593	1,618			
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							循環型社会の実現に向け、ごみとして排出されたものを資源物としてリサイクルするために必要な事業であるため、「4」としました。
		効率性		●						他自治体に先駆けて全てのプラスチック類を一括回収するなどしているが、リサイクルできない汚れた資源物が混入しているため、「3」としました。
		公平性	●							限りある資源を有効活用するため、市民からごみとして排出された資源物をリサイクルする事業であり、「4」としました。
将来性	●				循環型社会の実現に向け、ごみとして排出された資源物のリサイクルは必要であるため、「4」としました。					
総合評価		A				資源物中間処理事業により、ごみとして排出された資源物を選別し、再商品化・資源化することで、今後も循環型社会の構築に向けて継続的に取り組んでまいります。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030202

事業名		資源リサイクル運動推進事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
令和2年度決算額		167,621	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	147,694	千円				
	一般財源	19,927	千円				
事業費（総計）		188,777	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>			
決算額		167,621	千円				
人件費		21,156	千円				
事業の目的		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、三つの基本テーマである「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を実施し、市民と事業者と行政が一体となって取り組みます。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 家庭ごみ有料化に伴う事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> 指定ごみ袋の物品購入業務 流通管理業務委託 手数料等徴収事務委託 流通管理システム賃貸借 資源リサイクルに関する事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> 集団回収奨励金 環境美化活動助成金 リサイクルハウス設置助成 生ごみ堆肥化容器助成、電動生ごみ処理機助成 紙類、剪定枝、蛍光灯等資源化処理業務 不法投棄・不適正排出対策に係る事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ぼい捨て防止看板の設置 監視カメラの設置 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		家庭ごみ排出量		トン	35,661	34,340	33,896
		リサイクル率		%	30.8	31.2	31.4
		不法投棄発生件数		件	88	78	88
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				循環型社会の実現に向け、ごみとして排出された資源物のリサイクルは必要であるため、「4」としました。	
効率性		●				道内10万人以上の都市の中で、リサイクル率がトップをキープしており、最大の効果が得られていることから、「4」としました。	
公平性		●				町内会など市民団体と協力して各事業を実施していることから、「4」としました。	
将来性		●				「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、様々な事業を継続して実施していく必要があることから、「4」としました。	
総合評価		A		これまでの取組により、ごみの排出量やリサイクル率は道内の主要都市でも高い水準をキープしています。「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の更なる高みを目指し、「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を展開していきたいと考えています。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030203

事業名		清掃統計処理システム事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課						
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例									
令和2年度決算額		1,217	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	1,217	千円								
事業費（総計）		1,922	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>							
決算額		1,217	千円								
人件費		705	千円								
事業の目的		ごみ排出量やし尿処理量等のデータは、現状分析や施策の企画立案、予算算定の基礎となります。これらのデータを適正かつ効率的に統計処理するため、清掃統計処理システムの定期的な保守管理を実施します。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 清掃統計処理システム保守を実施しました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							本システムにより、本市のごみ排出量及びし尿処理量等の状況を把握し、事業に反映させているため、「4」としました。		
効率性		●							ごみ排出量及びし尿処理量等の膨大なデータを適正かつ効率的に統計処理していることから、「4」としました。		
公平性		●							本システムデータを基に適正な予算を算出し事業を執行しているため、「4」としました。		
将来性		●				適正かつ効率的に事業を実施するため、システム更新や保守を継続して行う必要があることから、「4」としました。					
総合評価		A				本システムは、事業の企画立案や予算算出に必要であり、今後の社会情勢や市民ニーズの変化に応じてシステムの見直し等を行っていきたいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030204

事業名		ふれあい収集専用車両リース経費		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例							
令和2年度決算額		119	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円					総合評価	
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	119	千円						
事業費（総計）		51,471	千円					A	
決算額		119	千円						
人件費		51,352	千円						
事業の目的		ふれあい収集は、ごみ出しが困難な高齢者等を対象とし、職員が利用者宅を訪問しごみを収集する際に安否確認を兼ねる「ふくしのまちづくり」に資する事業であります。今後も当業務を安定的に継続するため、収集体制を整備します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 ふれあい収集専用車両を1台増車しました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		ふれあい収集実施世帯			世帯	703	687	654	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				ごみ出しが困難な高齢者等の生活を支援しているため、「4」としました。			
効率性				●		独居者の安否確認を兼ねており、対象者の介護計画等を調整して収集日時を決めているため、収集の効率を優先しておらず、「2」としました。			
公平性		●				ふれあい収集をホームページ等で周知し、各介護事業所などの関係機関からも申込が可能であるため、「4」としました。			
将来性		●				今後、高齢者はますます増え、ごみ出しが困難な方も増えるため、ふれあい収集のニーズは高まるため、「4」としました。			
総合評価		A				ごみ出しが困難な方はますます増えるため、ふれあい収集を継続し体制強化を検討していきたいと考えています。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030205

事業名		ごみ収集運搬作業員感染防止対策事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
令和2年度決算額		3,400	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	3,200	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	200	千円						
事業費（総計）		4,105	千円	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>				総合評価	A
総合評価									
A									
決算額		3,400	千円						
人件費		705	千円						
事業の目的		ごみ収集運搬は、衛生的で快適な市民生活に欠かせない業務ですが、コロナ禍において感染リスクの高い作業を行っております。当業務を担っている作業員に対する慰労及び夏場の熱中症対策に資する物品等の作業環境を整備するため、受託業者に対し補助金を交付します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>3</p> <p>すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>12</p> <p>つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p>1 ごみ収集運搬作業員感染防止対策補助金を交付しました。</p>							
実施結果（活動指標）									単位
補助交付額			千円	3,400	-	-			
補助金による慰労金支給者数			人	170	-	-			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3				2	1	
有効性		●							コロナ禍において感染性のリスクの高いごみ収集運搬業務を担っている作業員に対し、本補助金により慰労したことで、モチベーションの向上に繋がったと受託者から伺っており、「4」としました。
効率性		●							コロナ禍においても、安定的にごみ収集運搬業務を継続されたことから、「4」としました。
公平性		●							コロナ禍においても、安定的にごみ収集運搬業務を継続されたことから、「4」としました。
将来性		●				未だコロナ禍は続いており、安定的なごみ収集運搬業務の継続に向け、今後も受託者と協議しながら必要に応じて支援すべきと考えているため、「4」としました。			
総合評価		A		コロナ禍においても、安定的にごみ収集運搬業務が継続されました。引き続き受託者と協議しながら必要に応じて支援を検討したいと考えています。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030206

事業名		塵芥処理感染防止対策強化事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
令和2年度決算額		277	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	200	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	77	千円						
事業費（総計）		982	千円	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>				総合評価	A
総合評価									
A									
決算額		277	千円						
人件費		705	千円						
事業の目的		コロナ禍を含め如何なる時でも、衛生的な市民生活や事業活動に欠かせないごみ収集業務を継続するため、市直営によるごみ収集に必要な防護服等を購入します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p>1 コロナ感染対策の防護服を購入しました。</p>							
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		感染症防護服の購入	着	120	-	-			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				コロナ禍において担当職員の感染防護服は必要不可欠であるため、「4」としました。			
効率性		●				収集業者が感染し業務継続が不可能となった場合に、市直営によるごみ収集支援が可能となるため、「4」としました。			
公平性		●				コロナ禍においても、衛生的で快適な市民生活に欠かせないごみ収集の継続が可能となることから、「4」としました。			
将来性		●				コロナ禍においても、衛生的で快適な市民生活に欠かせないごみ収集を継続する必要があることから、「4」としました。			
総合評価		A		ごみの収集は、市民が衛生的で快適な生活を送る上で不可欠な市民サービスの一つであります。未だコロナ禍は続いており、今後も安定的なごみ収集体制の確保に努めていきたいと考えています。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030301

事業名		清掃施設ダイオキシン類測定分析業務		担当部署	環境衛生部 施設管理課					
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法								
令和2年度決算額		2,528	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">項目評価</div> <div style="text-align: center;"> <p>有効性 将来性 公平性 効率性</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">総合評価</div> </div>						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	2,528	千円							
事業費（総計）		3,233	千円							
決算額		2,528	千円							
人件費		705	千円							
事業の目的		ダイオキシン類対策特別措置法28条第1項に基づき毎年1回以上、ダイオキシン類の濃度を測定分析します。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;"> 11 住み続けられるまちづくりを </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;"> 13 気候変動に具体的な対策を </div> </div> <p>環境省法令で定める方法により排ガス、飛灰、焼却灰、工場排水など24検体のダイオキシン類測定分析を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却施設 : 9 検体 ・ 埋立処分場 : 15検体 								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度		
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							測定分析の実施により、基準値以内で施設を運転し、周辺の環境が保たれていることから、「4」としました。
		効率性	●							法令で定める方法に基づき、必要な検体数について測定分析を実施したことから、「4」としました。
		公平性		●						ごみ処理施設周辺の環境保全を確認したことから、「3」としました。
将来性	●				施設周辺の環境保全及び施設の安定稼働のため、継続して測定分析を実施していく必要があることから、「4」としました。					
総合評価		A				焼却施設や埋立処分場は、ダイオキシン類の測定分析及び国への報告義務が法で定められています。また、ごみ処理施設の安定稼働及び施設周辺の環境保全のためにも本業務を継続していく必要があると考えています。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030302

事業名		廃棄物処理施設整備基金積立金		担当部署	環境衛生部 施設管理課																						
根拠法令		苫小牧市廃棄物処理施設整備基金条例																									
令和2年度決算額		90,027	千円	項目評価																							
財源内訳	国道支出金		千円																								
	地方債		千円																								
	その他	90,027	千円																								
	一般財源		千円																								
事業費（総計）		90,027	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A																	
総合評価																											
A																											
決算額		90,027	千円																								
人件費		0	千円																								
事業の目的		廃棄物処理施設を計画的に整備するために整備費の一部を積み立てるものです。																									
事業の内容		<p>積立金の財源</p> <ol style="list-style-type: none"> ごみ広域処理負担金 : 安平町、厚真町の廃棄物を処理した量に対しての負担金 ごみ処理手数料 : 有料ごみ袋の収入 余剰電力売電収入 : 沼ノ端クリーンセンターの余剰電力売電収入 廃棄物処理施設整備基金運用利子 : 積立金運用利子 																									
SDGs17の目標																											
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の年度末残高</td> <td>千円</td> <td>369,243</td> <td>320,850</td> <td>267,588</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	基金の年度末残高	千円	369,243	320,850	267,588												
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																							
基金の年度末残高	千円	369,243	320,850	267,588																							
項目評価		高 → 低				評価の理由																					
		4	3	2	1																						
有効性		●				基金積立により、将来の大規模整備事業費用の一部を積み立てるとともに、突発的な維持補修の財源に充当することができたことから、「4」としました。																					
効率性			●			基金の一部を取り崩しながらも、計画どおり基金を積立していることから、「3」としました。																					
公平性		●				ごみ処理に係る手数料や負担金などの収入の一部を積み立てていることから、「4」としました。																					
将来性		●				将来の大規模整備事業に要する費用について、その一部に基金を充当し財政負担を軽減できることから、「4」としました。																					
総合評価		A				基金積立により、次期廃棄物処理施設の整備など大規模事業において、基金の一部を充当することで財政負担を軽減できることから、次年度以降も計画的な基金積立を継続していきたいと考えています。																					
特記事項																											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030303

事業名		沼ノ端第2埋立処分場整備事業【継続事業】		担当部署	環境衛生部 施設管理課		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律・循環型社会形成推進基本法					
令和2年度決算額		263,120	千円				
財源内訳	国道支出金	70,137	千円				
	地方債	165,600	千円				
	その他	27,074	千円				
	一般財源	309	千円				
事業費（総計）		265,236	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>			
決算額		263,120	千円				
人件費		2,116	千円				
事業の目的		ごみ焼却灰の埋立処分場について、現処分場が埋立終了となるため、平成28年度から令和2年度までの5年間で、新たに沼ノ端第2埋立処分場を整備するものです。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <p>沼ノ端第2埋立処分場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分場および調整池の造成 ・浸出水処理設備の設置 ・環境省の循環型社会形成推進交付金を活用 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		循環型社会形成推進交付金		千円	70,137	123,488	93,290
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				ごみ焼却灰の安定的な埋立処理が可能となったことから、「4」としました。	
効率性		●				他工事の発生土砂や旧資源化センターの建屋を有効利用するなど、事業費の縮減を図ったことから、「4」としました。	
公平性		●				市民が排出したごみから発生する焼却灰を埋立処分するものであり、市民生活には不可欠なインフラ施設であるため、「4」としました。	
将来性		●				今後も衛生的な市民生活に不可欠なインフラ施設の整備であるため、「4」としました。	
総合評価		A		衛生的な市民生活に不可欠なごみ処理施設の事業費縮減を図り、計画どおり完成することができ、今後も安定的にごみ処理を実施していきたいと考えています。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030304

事業名		沼ノ端クリーンセンター整備事業		担当部署	環境衛生部 施設管理課																																		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律																																					
令和2年度決算額		260,031	千円																																				
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債	194,900	千円																																				
	その他	14,560	千円																																				
	一般財源	50,571	千円																																				
事業費（総計）		262,147	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A																													
総合評価																																							
A																																							
決算額		260,031	千円																																				
人件費		2,116	千円																																				
事業の目的		廃棄物処理施設の安定した稼働と適正な処理を維持するために、法令に基づく定期検査及び確認を行い、経年劣化部分に必要な整備を実施するものです。																																					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <p>法令に基づく定期整備及び摩耗損傷状況の確認を行い、法定検査に必要な整備を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却施設 : 2基 ・ ボイラー : 2基 ・ 計量器 : 2基 																																					
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																													
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																																			
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ごみ処理が安定的に継続されていることから、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>定期整備の結果、必要とされた整備を行っており、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>市民が排出したごみを処理する施設の整備であり、市民生活には不可欠なインフラ施設であるため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>今後も衛生的な市民生活に不可欠なインフラ施設の整備であるため、「4」としました。</td> </tr> </tbody> </table>				項目	高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				ごみ処理が安定的に継続されていることから、「4」としました。	効率性	●				定期整備の結果、必要とされた整備を行っており、「4」としました。	公平性	●				市民が排出したごみを処理する施設の整備であり、市民生活には不可欠なインフラ施設であるため、「4」としました。	将来性	●				今後も衛生的な市民生活に不可欠なインフラ施設の整備であるため、「4」としました。
項目	高 → 低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性	●				ごみ処理が安定的に継続されていることから、「4」としました。																																		
効率性	●				定期整備の結果、必要とされた整備を行っており、「4」としました。																																		
公平性	●				市民が排出したごみを処理する施設の整備であり、市民生活には不可欠なインフラ施設であるため、「4」としました。																																		
将来性	●				今後も衛生的な市民生活に不可欠なインフラ施設の整備であるため、「4」としました。																																		
総合評価		A				衛生的な市民生活に欠かせないごみ処理施設の整備であり、安定的な稼働には今後も事業継続することが必要不可欠と考えています。																																	
特記事項		決算額については、沼ノ端クリーンセンター整備事業【繰越明許】の事業費を含んでいます。																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号 04030401

事業名		西町し尿処理施設改修事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課						
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例									
令和2年度決算額		3,404	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	3,404	千円								
事業費（総計）		6,930	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>				総合評価		B	
総合評価											
B											
決算額		3,404	千円								
人件費		3,526	千円								
事業の目的		し尿処理施設は、一般廃棄物である汲取便所のし尿や浄化槽の汚泥を処理するための施設です。当施設は、運転開始から36年が経過し各設備の老朽化が進行しておりますが、計画的に整備や補修を実施することで、安定的にし尿及び汚泥の処理を行います。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 施設整備及び補修を実施しました。 ・し尿投入層の床排水ポンプの交換、外壁補修工事、し渣ホッパー点検整備、シャッター整備</p>									
実施結果（活動指標）											
		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		し尿処理量		kℓ	11,759	13,135	12,786				
		汚泥処理量		kℓ	4,058	3,728	3,953				
項目評価		高 → 低		評価の理由							
		4	3	2	1						
有効性		●				し尿及び汚泥処理を継続するために必要な事業であり、かつ、市民や事業者にとって必要不可欠な事業であるため、「4」としました。					
効率性			●			本事業により、し尿及び汚泥処理を継続できることから、「3」としました。					
公平性			●			生活環境の改善や環境汚染防止に繋がるため、「3」としました。					
将来性		●				し尿及び汚泥処理は、下水道認可区域外の排水処理及び仮設トイレなど今後も必要であり、事業を継続する必要があるため、「4」としました。					
総合評価		B		施設の老朽化が進行し、将来の更新を検討する時期が近付いており、今後関係機関と協議を進めていく必要があるものと考えています。							
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号 04030402

事業名		合併処理浄化槽設置整備事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課																				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、水質汚濁防止法																							
令和2年度決算額		0 千円		項目評価																					
財源内訳	国庫支出金	千円																							
	地方債	千円																							
	その他	千円																							
	一般財源	千円																							
事業費（総計）		1,410 千円		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 B </div>																					
決算額		千円																							
人件費		1,410 千円																							
事業の目的		下水道認可区域外の市民を対象に、単独浄化槽や汲取り便所から合併処理浄化槽への切替を促進し、適正に維持管理することで、生活環境の改善や河川等の汚濁を防止します。																							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <small>11 住み続けられるまちづくりを</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>12 つくる責任 つかう責任</small> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽の設置促進に係る周知の実施について 浄化槽設置整備事業補助金交付制度を活用し、合併処理浄化槽未実施世帯へ周知を行うとともに、市ホームページにおいても周知をしました。 適正な指導の実施 浄化槽法第7条及び第11条に規定されている、定期法定検査の未受検者や検査結果が不適正となった世帯や企業に対し、適正な指導を行いました。 																							
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合併処理浄化槽設置補助件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業所からの合併処理浄化槽設置申請受理件数</td> <td>件</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>浄化槽維持管理改善通知発送件数</td> <td>件</td> <td>39</td> <td>33</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	合併処理浄化槽設置補助件数	件	0	0	2	事業所からの合併処理浄化槽設置申請受理件数	件	22	19	10	浄化槽維持管理改善通知発送件数	件	39	33	31
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																					
合併処理浄化槽設置補助件数	件	0	0	2																					
事業所からの合併処理浄化槽設置申請受理件数	件	22	19	10																					
浄化槽維持管理改善通知発送件数	件	39	33	31																					
項目評価		高 → 低		評価の理由																					
		4	3	2	1																				
有効性		●				生活環境の改善や環境汚染防止のため、下水道認可区域外の市民や事業者から出る排水を処理する必要があることから、「4」としました。																			
効率性			●			浄化槽設置整備事業補助金交付制度の申込みは無かったが、公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%に達成していることから、「3」としました。																			
公平性			●			下水道認可区域外の市民や事業者に対し、合併処理浄化槽の設置促進や法定検査について周知を行っているため、「3」としました。																			
将来性		●				合併浄化槽の設置促進及び適正な維持管理を今後も継続する必要があるため、「4」としました。																			
総合評価		B		公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%を達成していますが、100%を目指し今後も粘り強く制度の周知を図り合併処理浄化槽の普及拡大に努めていきたいと考えています。																					
特記事項																									